



はやま議会だより



備えあれば憂いなし…いずれ来るその日に備えて



葉山町総合防災訓練@葉山小学校 2023.10.14

- 特集〔開発関連陳情審査〕 … 2
- 令和4年度決算 … 4
- 第3回定例会報告 … 10
- 委員会レポート … 11
- 一般質問は12人が登壇 … 14

葉山町議会



住民の安全検証を目的とした、トゥモローランドホテル接続道路における緊急車両の走行テスト及び防災シミュレーション等の実施を求める陳情書

委員会

- 担当説明**
- ・当該ホテルの建物規模では、交通量調査の義務はない。
 - ・緊急車両の走行に問題はなくテストの必要はない。
 - ・ホテル開業後、事業者側と連携し災害対策に備えていく。

- 委員意見**
- ・陳情の願意は達成している。
 - ・陳情者や近隣住民の不安な気持ちを考慮すべき。

〔審査結果／可否同数で委員長採決で採択に〕

本会議

【賛成討論】〔三浦／近藤〕

- ・工事車両によるトラブルが起きている。
- ・走行テスト及び防災シミュレーションの実施は、可能な限り取り組み周辺住民へ丁寧な説明をすべき。

【反対討論】〔石岡／土佐〕

- ・担当課からのヒアリングで、走行テスト及び防災シミュレーション等の必要性は感じられない。

不採択

町長による特例承認（但し書き）には理由を明示し、や住民の承認をとることを要求する陳情書

委員会

- 委員意見**
- ・但し書きを適用する理由は明示する必要がある。
 - ・陳情趣旨には書類に虚偽があると記されているが、現段階では明確になっていない。

〔審査結果／賛成2：反対4⇒不採択〕

本会議

【賛成討論】〔金崎／窪田〕

- ・170人の反対署名がありながら但し書きを採用した理由を知りたいと思うことは当然の要求だ。
- ・虚偽だという判断も明確なものがある。

【反対討論】〔石岡／荒井〕

- ・虚偽と断定するだけの具体的な根拠が希薄で町も調査中。
- ・議会や住民の承認については、判断に専門的な知識を要する事もあり現実性がない。

不採択

トゥモローランドホテル建設に関する申請で虚偽が見つかったので第三者委員会の設置を求める陳情書

委員会

- 担当説明**
- ・申出書の内容について事業者から聞き取り調査中。町としての方向性について現在慎重に精査をしている。

- 委員意見**
- ・住民と事業者との間に虚偽が発見されたところ、町は現在精査中でその結果を待つべき。

〔審査結果／賛成0：反対6⇒不採択〕

本会議

【賛成討論】〔窪田〕

- ・協議記録に明確な齟齬があり、虚偽の申請が行われたとしたら重大な問題であり、事実関係を明らかにしなければならない。

【反対討論】〔土佐〕

- ・陳情に、虚偽が見つかったとあるが、断定するだけの具体的な根拠は希薄。担当課も現在、事実関係を確認中だ。また、百条委員会の設置を求めることなど、陳述内容に一貫性がない。

不採択

株式会社トゥモローランドのホテル建設に対する「行政処分、行政指導を求める申出書」の速やかな調査と回答を求める陳情書

委員会

担当説明

- ・申出書の内容について事業者から聞き取り調査中。町としての方向性について、現在慎重に精査をしている。

委員意見

- ・事実関係が明らかになっていない部分もあるが、申出書に対する回答は早急にすべき。

〔委員会審査／⇒趣旨了承〕

本会議

― 陳情審査の流れ ―

本会議で委員会に付託

付託先委員会で審査

本会議で審査結果報告

議決（議決前に討論）

趣旨了承

開発関連の陳情審査！！
今回は陳情8本
問われる今後のまちづくり？！

葉山町の未来のためのグランドデザインを策定・宣言することの陳情書

委員会

担当課説明

町としては総合計画をグランドデザインとしている。その中に土地利用について定めていて、また、都市計画マスタープランにおいても、土地利用細部にわたり定めているので、新たなグランドデザインの策定は考えていない。

委員意見

町には総合計画をはじめ、都市計画マスタープランがあるため、改めてグランドデザインを作る必要はないが、趣旨は理解できるという意見で一致

〔審査結果／⇒趣旨了承〕

本会議



*討論詳細はコチラ!! (1h9m50s～)

趣旨了承

葉山町内の開発において、葉山町マスタープラン、まちづくり条例が掲げる理念の理解を促し、但書に寄らない施行規則の厳正な適用を求める陳情書

委員会

担当課説明

- ・但書は状況に応じて厳正に扱っている。更なる厳しい規制には、地域まちづくり協定を締結する必要がある。

委員意見

- ・但書は止むを得ない場合に適正に運用されている。
- ・但書は安易に適用するものではなく、仮に適用する場合は住民の意見を聞くべき。

〔審査報告／賛成2：反対4⇒不採択〕

本会議

【賛成討論】〔三浦／金崎／窪田〕

- ・但書適用には第三者に意見を聞き、住民への丁寧な説明を求めるべき。
- ・但書適用の定義はなく、事実上、町長の一存で意思決定ができる状況は改めるべきだ。

【反対討論】〔荒井〕

- ・但書は適正に運用されている。譲歩のない制限を地域に求めるのであれば、地域まちづくりの制度を活用すべき。

不採択

葉山町における地下駐車場・地下室設置時に地盤／地質調査を義務付ける条例を求める陳情書

委員会

担当課説明

- ・開発事業者には計画設計段階でボーリング調査など適正な指導を行っている。但し、町には地下水に関する専門職員がいないので、条例を定めるには適さない。

委員意見

- ・町での条例制定は運用面からも難しく、必要に応じて県が適正な指導を行ってくれている。
- ・県任せにせず、町民の生活を守る観点から、条例施行規則に定めるべき。

〔審査報告／賛成2：反対4⇒不採択〕

本会議

【賛成討論】〔窪田〕

- ・現細な善処
- ・現在進行中の開発事業者は、地下水の存在を認めながら詳細調査については住民には必要ないと拒否しており、町に求めるべき。

【反対討論】〔土佐／待寺〕

- ・現状通り、都市計画法を所管する県に指導を任せるべき。
- ・趣旨は一部理解出来るが、条例化は不要。そもそも怠ったら県の検査は通らない。

不採択

葉山町の将来に向けた良好なまちづくりを実現・継続するための陳情書

委員会

担当課説明

- ・陳情のように変更した場合、不適格の建築物が多く現実性がない。規制強化を望むのであれば、エリアを区切って地区計画や建築協定を見据えたまちづくりを行うことが望ましい。

委員意見

- ・用途地域の変更は極端過ぎて現実性もない。地域まちづくり協定を作って対応すべき。
- ・用途地域変更の検討を望んでおり、時代背景からも見直す時期に来ている。

〔審査報告／賛成2：反対4⇒不採択〕

本会議

【賛成討論】〔中村／窪田〕

- ・既存不適格の問題を別の形で解決しながら検討すべきだ。
- ・法的に可能であり、町の現状から願意は尊重すべき。

【反対討論】〔荒井／待寺〕

- ・地域の個性や特徴を一律にすることが葉山らしい良好な町並みであるかは議論が分かれる。
- ・地区計画で協働のまちづくりを経験した後、町全体に規制を求めるのが筋だ。

不採択

令和4年度決算を認定

評価
した事業

5年間で12億7千万円

下山口に設置した
マンホールポンプ



下水道事業

下山口地区の面整備完了

40万円



産後ケア事業にナイト型

出産・子育てを応援

コロナ禍から回復中

課題
とした事業



危険木伐採助成

対象の拡大を望む



がけ地防災対策補助

対象となる工事实績は0件

356万円



上山口小学校給食室改修

中学校給食実現へ

1024万円



吹奏楽部の楽器更新

葉山中、南郷中に新しい音色



高齢者の外出支援

タクシー券の補助も望む



長柄桜山古墳整備

トイレ設置の検討を

1705万円



クリーンセンター再整備

既存施設解体へ



南郷上ノ山公園整備

新しいトイレに



総合型地域スポーツクラブ助成

スポーツ施設の充実を望む



住宅耐震推進

通学路のブロック塀撤去を

決／算／総／括／質／問

5人が質問しました



中村和雄



金崎ひさ



荒井直彦



窪田美樹



近藤昇一

財政と将来展望

中村 実質公債費比率がマイナスだが、消極的な行政運営の結果ではないか。

政策財政部長 公共施設の老朽化は待ったなし。今後のことを考えると、この水準の公債費の抑制は必要と考える。

中村 建設着手が遅れば遅れるほど、建設資材や労務費の高騰、円安の影響で建設費がかさむ。町債の積極的な活用で小中一貫校の実現を急ぐべきではないか。

教育長 少しずつ検討を始めている。議論を始めた段階だ。
中村 従来の学校のイメージに囚われず、地域の拠点となるような学校にすべきでは。
教育長 学校が町民の生活に関わる地域拠点という発想も含め、考え方を整理したい。



新しい葉山中学校トイレ

金崎 地域交通計画の策定は、**政策財政部長** 6年度に向け、概ね順調に進めている。

窪田 税収も伸び、基金も増え、大口の借金も減った。毎年の公債費率減は悪いことではないが、今、税金を納めている方が満足する町政運営が重要と考えるが、主な事業は。
町長 下水道整備やクリーンセンター解体、葉山中学校トイレ改修だ。民生費の需要増には補正予算で対応した。

森林環境譲与税

荒井 森林環境譲与税は、令和元年度からふると葉山みどり基金に繰入れてきている。累計金額は。

政策財政部長 4年度末約8500万円のうち、繰り入れ分は、約1079万円だ。

荒井 何に使われているのか。
政策財政部長 使途として唯一定まっているのが、防災対策強化事業の危険木伐採工事で、4年度実績は、その一部として29万円を充当してる。

荒井 令和6年度からのくらしいの金額が町に入るのか。
政策財政部長 6年度は690万円程度が見込まれる。

荒井 今後の使途は。
町長 まずは防災の面から、一定の条件をかけながら危険木があれば、対応していく。

町内活性化

中村 農林水産、商工業関係事業費の構成比が低い。お金が少しでも町内で回るよう、町民の意識改革も含め、町の経済を可能な限り大きく強くする方策の検討を。

町長 町を象徴する商品や店

舗の発掘、観光による漁業や農業の振興、三浦半島全体での取り組み等考えていきたい。

教育

金崎 学校トイレ改修計画は。
教育部長 次は長柄小学校だ。
金崎 支援級「ヤシの実」に学校給食がないのはなぜか。

教育部長 出欠席の用途がたらず、対応できていない。

窪田 小中一貫教育から一貫校の重要性があげられる。老朽化が進むハード面の整備は。
教育長 ソフト面が先行しているが、議論は深めていく。



福島県大熊町の幼小中一貫校「学び舎 ゆめの森」

暮らしの安全

窪田 住み続ける上でも住宅リフォーム助成制度の拡充を。
町長 再検討する価値はある。
窪田 住宅耐震推進事業に力を入れたが、周知や実績は。

都市経済部長 ある程度浸透し、建替え率が上がっている。

公共施設の充実

金崎 旧役場跡地利用計画は。

町長 令和7年1月が目途だ。

金崎 町営住宅の給湯機器の更新は。

福祉部長 現行のままで。

金崎 駐車場有料化の協議は。

都市経済部長 さまざまな視点で検討している。

金崎 体育施設の新設計画は。

町長 具体策に至っていない。

金崎 公衆トイレの改修は。

都市経済部長 長者ヶ崎の公衆トイレについて検討中だ。

金崎 公園整備計画は。

都市経済部長 関係者と話し合っており、中間報告をする。

金崎 臨御橋の架け替えは。

都市経済部長 県と最終調整をし、年度末には報告する。

近藤 葉山町の財政状況は、



消防職員の増員は

窪田 数年、消防職員採用が予定通りにいかない。多発する自然災害、救急需要の増加を踏まえ、職員増の考えは。

消防職員・消防団

借金を減らし貯金である基金を膨らましている。自治体の財政運営は企業経営とは違い、住民からの税金を有効に活用することが仕事。葉山町は圧倒的に公共施設が不足している。町民体育館やプール建設の方針を示すべきでは。

金崎 消防団員災害時出勤報酬総額が減額している要因は。

消防長 出勤人数を制限した。

総合型地域スポーツクラブ

近藤 令和5年度から総合型地域スポーツクラブのプレーオープンが始まっている。拠点がないと成功しないという指摘もあるが、その状況は。

教育部長 6年度正式スタート

消防長 適正職員数算出のため、高齢化率や出動件数等必要推計値を出す作業を始めた。

町長 消防長と連携し、必要な人員等前向きに捉えていく。



湘南国際村の道路

トになる。会費やメニューなど精査している。

湘南国際村

近藤 新たな財源づくりで、湘南国際村へ都市計画税の課税を提案しているが。

政策財政部長 今の湘南国際村への課税は難しい。

近藤 今、国際村の町道を1億円で整備している。市街化調整区域でも課税は可能だ。4千万円の増収が見込める。

町長 タイミングを見て県と議論したい。

町長・教育長質問

今後の人事配置

町長 人手不足は厳しい状況だ。予定外の退職・求職者等については、充足できていない状況がある。事務職採用においては求職者側とのミスマッチもあると考えられるので、選考過程の見直し等を図りたい。消防職員については内定辞退があり、新年度の採用を選考中だが、女性消防士の必要性や産休・育休等の代替職員の必要性も認識している。

問 コロナ禍の影響もあり、一部の職員に、かなり負荷がかかっているのではないかと心配だ。緊急事態に備えるには、人事の採用計画をしっかりと組む必要があるのではないかと。

町長 ここ数年は、退職予定者よりも若干多めに採用している。退職者が多い年には、なるべく前倒し採用すること、円滑な引き継ぎが行えるようにしたい。

問 窓口の総合化についての考えは。

町長 ※ AIやDXを活用した取り組みとしては、進展を期待している。

※ AI＝人工知能

DX＝デジタル技術による

改革

防災対策強化事業

町長 危険木伐採については、山の管理面から向き合う。がけ地防災対策工事費等補助金は、まだ補助実績がなく、制度改善が必要だ。

問 土砂災害警戒区域の範囲外にも、危険木伐採の補助金の対象を広げてはどうか。ナラ枯れは、枯れ始めて5年経ったら倒れるという認識を持つて対応してほしい。

町長 山を管理する人手がない一方、樹木は確実に伸びてくることから、危機意識は持っている。もう少し議論する時間がほしい。

地域公共交通計画

町長 計画策定を待たず、町としての取り組みを進める。

問 京急ふれあいバスを利用できない方のためのタクシー券助成等も、検討するのか。

町長 1億円以上の経費がかかるの見込まれるので、色々な方策を考えている。

問 ※スローモビリティ導入の可能性はどうか。山坂の多い所や観光地等で役立ち、環境にも優しいので、先行自治体では、かなり取り組んでいる。※低速で走る車による移動サービス



スローモビリティの例（国土交通省ホームページより）

町長 バスやタクシーを使う大きな移動部分と、バス停から自宅までのラストワンマイルの部分という、二つの主軸で考え、研究している。

友好都市との連携・交流

町長 那須町・下田市とは、御用邸つながりの友人として、防災や人口減少対策等の情報交換を行い、価値向上に努める。

問 姉妹都市である草津町と同様に、宿泊補助をしてはどうか。

町長 友好関係を深める点では、姉妹都市を優先したい。

まちづくり審議会への諮問

町長 まちづくり審議会は、新たな知見の獲得、利害関係の調整、条例の検討、法執行の適正さ等について意見を求める機関だ。現状では、諮問する内容がない。

問 森戸海岸のホテル建設で、町に町民の声が届いていると思うが、それは町が関与する問題ではないという認識か。

町長 法的な紛争状態ではな

いと考えているので、審議会には適さない。

しおさい公園の集客対策

教育長 コロナ以前の来園者数の6割程度に留まっているので、より魅力ある博物館の展示を検討している。

問 小学生が授業の一環として行くことが、大事ではないか。

教育長 校長会等を通じて、小学校と話をする。

問 一景庵が10月から閉鎖されるが、再開の予定は。

教育長 閉めてしまうと傷むので、どんな形で再オープンするかも含め、年内には方針を出したい。



しおさい公園

防災拠点としての南郷上ノ山公園

教育長 管理事務所の建て替えは、公園全体のあり方の中で検討する。

町長 町民の長期避難所でもあり、自衛隊や警察等、外部からの支援の拠点ともなるので、防災の視点を取り入れて検討していく。

問 災害時には、上下水道に課題があるのではないか。

町長 下水道関係は、南郷公



南郷上ノ山公園駐車場

園よりも、住民の居住地に近い小中学校の整備強化に力を入れていく。

問 駐車場が狭いが。

町長 議論を深めていく。

長柄桜山古墳の令和6年度供用開始

教育長 計画していた整備がおおむね終了するので、逗子市と共に、記念式典や講演会の開催を検討している。

問 トイレの問題は大事だが。

教育長 史跡にはトイレを設置できない。また、桜山丘陵の葉山側には適地がないので、近接地への設置について、逗子市教育委員会を通じて協議を継続する。

決算特別
委員会の
動画



決算特別委員会審査報告

山田由美委員長、荒井直彦副委員長、星加代子、笹本貢史、待寺真司、窪田美樹、土佐洋子、各委員による審査結果。

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び下水道事業会計は全会一致で、後期高齢者医療特別会計は賛成多数で可決。



- ・防災対策強化事業の対象範囲拡大
- ・南郷上ノ山公園の防災拠点としての整備
- ・木造沿道建築物耐震診断業務委託の拡充
- ・はやまエシカルアクションについての積極対応



- ・長柄桜山古墳の供用開始に向けた、トイレ設置についての逗子市との協議・検討



- ・町内会・自治会の防災倉庫の設置・管理
- ・期限間際の防災備蓄食糧の利用拡大
- ・福祉文化会館周辺の安全対策
- ・町営住宅のバリアフリー化
- ・外出支援事業の拡充
- ・産後ケア事業及び妊産婦健診の充実

- ・国民健康保険料の負担軽減
- ・高校生奨学事業の給付額増額
- ・各学校の図書室の開室時間延長
- ・公共下水道の接続率向上と合併処理浄化槽の普及促進

本会議における令和4年度の決算審議結果

窪田美樹、土佐洋子、待寺真司の各議員が討論を行いました。

主な討論内容

一般会計

- ・町税収入が伸びた。
- ・ふるさと納税の他自治体への流出額が増えている。
- ・中学校のトイレ改修や、吹奏楽部の楽器購入を評価する。
- ・学校給食の公会計化が実現した。
- ・学校給食費無償化の継続を望む。
- ・産後ケアにナイトケアを加えたことを評価する。
- ・保育園の待機児童は減ったが、学童クラブの待機児童は増えた。
- ・3歳児健診へのSVS(目の検査機器)導入を評価する。
- ・子宮頸がんワクチンの接種推進を望む。
- ・防災読本が見やすくなった。
- ・草津温泉バスツアーの拡充を望む。
- ・住宅の耐震推進事業が進んでいない。
- ・消防職員の充足率を上げてほしい。

後期高齢者医療特別会計

- ・窓口負担の2割化に反対する。

介護保険特別会計

- ・在宅介護サービスの充実を望む。
- ・16段階の保険料の均衡を図るよう望む。

下水道事業会計

- ・公共下水道への接続率向上を望む。
- ・私道部分への支援を求める。

認定

国民健康保険特別会計

- ・保険料の負担が増えてしまっている。
- ・一般会計からの繰り入れ増額を評価する。

◎一般会計	全会一致
◎国民健康保険特別会計	全会一致
◎後期高齢者医療特別会計	賛成多数
◎介護保険特別会計	全会一致
◎下水道事業会計	全会一致

第3回
定例会

9月6日から10月12日まで開催し、令和4年度決算、令和5年度補正予算、陳情等の審議を行いました。

令和5年度一般会計補正予算（第5号・6号）

歳入

地方特例交付金（△130万円）
減収補填特例交付金

地方交付税（8445万円）

基準の需要額が、収入額を上回ったことに伴う増額

農林水産業費県補助金

（225万円）

市町村地域防災力強化事業費補助金（△11万円）

消防団員用雨合羽の購入経費に対する、他の交付金利用に伴う減額

繰越金（4億8872万円）

臨時財政対策債

（△3455万円）

発行可能額の減額

歳出

財産管理事業

（303万円）

長柄会館敷地内舗装修繕工事

主な質疑

問 会館と神社の境界線を確定してから予算計上するべきでは。

答 子どもたちの遊び場にもなっている観点から、迅速な対応を図る必要があった。境界線に関しては今後検討する。

問 スロープ・階段はバリアフリー化の必要があるのでは。

答 今後検討する必要がある。



長柄会館

企画調整事業（86万円）

ノーコードツールによるシステム構築作業支援業務委託及びシステム使用料

主な質疑

問 決まったツールがあるのか。

答 まだない。実証実験を行うための費用だ。

協働推進事業

（378万円）

葉山まちづくり協会への委託金（令和5年10月～6年3月）

主な質疑

問 今後分けて委託をしていくのか。

答 次年度以降は、通常通り年間で委託予定だ。

消防活動事業

（80万円）

令和6年4月1日付け新採用予定職員の被服等購入費

消防団活動事業（49万円）

消防団員用雨合羽購入費

コミュニティ・スクール推進事業（4万円）

「未来の学校を考えるワークショップ」に参加する学校運営協議会委員への報酬

町制施行100周年記念事業

（67万円）

周年ロゴとキャッチフレーズを使用した物品等の製作

問 決定したロゴと記念品との関係性はどうか。

答 ロゴやキャッチフレーズでデザインした記念品、のぼり旗などは、町内掲示による機運醸成用に使用する予定だ。



公募で決まった記念ロゴ

財政調整基金積立金

（1億5千万円）

年度末現在高見込

10億1346万円

公共公益施設整備基金積立金

（3億7千万円）

年度末現在高見込

21億9012万円

ゼロ・ウェイスト推進事業

（89万円）

家庭用生ごみ処理機の購入費への補助金

主な質疑

問 収集体制変更後、生ごみを自家処理しているご家庭へのインセンティブはあるか。

答 キエーロの処分や買い替えに補助を検討する。収集体制の議論も続けていく。

問 予算超過時の対応は。

答 追加補正で対応する。

地場農産物振興対策事業

（225万円）

新規就農者の経営開始に要する資金補助

主な質疑

問 対象者が50歳以下としている理由は。

答 県と要綱に基づいているが、今後、妥当な年齢基準も含め県と話し合っていく。

葉山町税条例の一部を改正する条例

特定小型原動機付自転車と「ミニカー」と呼ばれる原動機付自転車の定義を明確化等改正する必要があるため

委員会レポート

皆さまから寄せられた**陳情**の審査

町の**問題・課題**の改善、対策を議論します。

総務建設

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情

政党機関紙の庁舎内勧誘行為、配達、集金の自粛を求めているものです。

審査結果

委員からは「現在、当庁では勧誘行為等はないとの説明があった」「今後も適切に対応するとの回答があった」との意見が出され、賛成なしにより不採択としました。

土地20・1と21・1の間の町道の道路整備計画の道幅拡張に関する陳情書

長柄地内において、陳情者が町から道路整備計画に基づき拡張するよう指導されたが、当該地のみ拡張するのはおか

しいので、撤回することを求めているものです。

審査結果

委員からは「当該場所は、道路整備計画のある個所だとの説明があった」「道路を拡張することによる実害は考えられない」等の意見が出され、賛成なしで不採択としました。

所管事務調査

- ホテル建設に関する道路幅員について
- マンション建設問題に関する地下水について
- まちづくり条例について

委員長 近藤昇一

教育民生

令和6年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情

令和6年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情

審査の効率化を図るため、一括審査しました。

審査結果

担当課からは、令和6年度も継続していく意向が示され、委員からは「物価や光熱費が高騰する厳しい状況の中、制度の継続に向けて採択すべき」との意見でまとまり、全会一致で採択しました。

現行の（紙の）健康保険証の存続を求める陳情書

従来型（紙）健康保険証の存続を求める意見書提出の陳情

審査結果

一括審査の結果「国民皆保険制度を、選択制であるマイナンバーカードに紐づけ、さらに紙の健康保険証を廃止することはおかしい」「資格確認書をわざわざ発行するなら、現行の健康保険証でよい」という意見に対し「今は過渡期であり、対応策を考えているため、趣旨了承したい」という意見もありましたが、採

決の結果、全会一致で採択し、国に対し意見書を提出することとしました。



マイナ保険証って大丈夫？

保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

審査結果

委員からは「子育て環境の向上は望むが、民間事業者はそれぞれ経営状況が違うので、一元的な引き上げを求めるよりは『趣旨了承』としたい」という意見もあった一方「75年もの間変わらなかった職員配置基準について、令和5年6月に改善の閣議決定がされた。このタイミングで意見書を上げることは、非常にタイムリーだ」との意見が出され、採決の結果、全会一致で採択し、国に対して意見書を提出することとしました。

委員長 石岡実成

議会広報

議会改革

議会だよりの外部委託や公聴会の充実、議会白書、議員の住所公開の是非等について検討しました。

広報についての研修

8月25日に全国町村議会議長会主催の研修を受け、葉山町議会だより152号の改善点等を指摘されました。一般質問に小見出しを加える等、今号から反映させていきます。



議会広報クリニック

委員長 荒井直彦

議会運営

陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善検討を求める

議会に提出される陳情は、議会運営委員会において取り扱いを協議することになっているが、付託後の委員会審査において「審査除外」と判断されることがあり得る。このような場合には、委員会から議長に差し戻して審査除外とするか、委員会結論として審査除外とするか等、陳情取り扱いの改善を求めているものです。

審査結果

委員から「議会運営委員会としては正当、適正に判断している」「委員会運営は常に改善が行われている」「陳情書の記載内容に不正確な点がある」等の意見が出され、採決の結果、賛成なしにより不採択となりました。

議会改革

「通年議会」について意見がまとまり、令和7年1月1日からの実施に向けて準備を

進めていきます。

視察受け入れ

7月7日に茨城県常陸太田市議会、20日には鳥取県琴浦町議会からの視察がありました。議会改革の取り組み等について、説明・意見交換を実施しました。

委員長 土佐洋子

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託の協議について

審査結果

逗子市では継続審査となっていました。9月27日に全会一致で可決しました。当委員会では、両市町の首長等が慎重に協議した議案と受け止め、全会一致で可決しました。

陳情「生ごみ資源化施設」について工事請負契約の遵守を求める

クリーンセンター再整備事業工事請負契約は、公募型

プロポーザルでの契約であり、要求水準書を大きく逸脱してはならない。また、運営費が大きく跳ね上がるようなこともあってはならないと求めているものです。

審査結果

数字の一人歩きを避けるため、採択は難しいが、工事請負の遵守は当然のことであり、趣旨は理解できるとし、全会一致で趣旨了承としました。

所管事務調査

生ごみ資源化施設の視察報告

町で導入しようとしている破砕袋機の調査のため、担当課が北海道美唄市と網走市を視察し、その報告を受けました。

クリーンセンター再整備

●ごみ焼却施設の建屋及び設



美唄市の破砕袋機



建設中のびん類ストックヤード

備等の解体が終了し、びん類とペットボトルのストックヤードを建設中です。

●生ごみ資源化処理施設における破砕袋機の仕様が決まったとのことです。

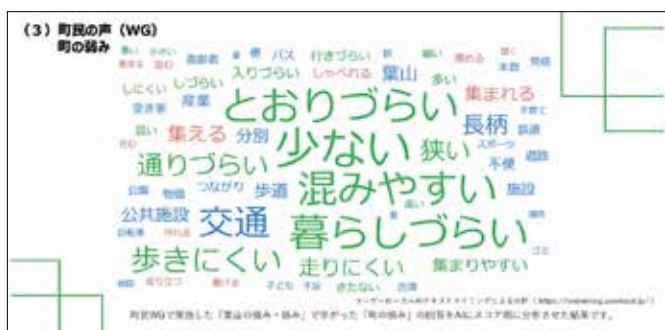
●生ごみ収集体制については、生ごみ週2回、可燃ごみ週1回とし、直営と委託で行うとの提案がありました。

委員長 金崎ひさ

総合計画特別委員会

第2回葉山町総合計画審議会で提示された資料の説明を受け、人口減少がもたらす町への影響では、子育て・教育を含む6分野での影響と課題が示されました。

また、町民の声から見える「町に望む姿」の説明では、AIによるスコア順に分析したキーワードから、単位施策の重要度や満足度のマトリックス図も明示されました。



町民の声（町の弱み）※政策課提供のマトリックス図

委員長 待寺真司

第3回定例会 表決結果

議員氏名（議席順）		三浦大輝	星加代子	笹本真史	中村和雄	石岡美成	山田由美	金崎ひさ	荒井直彦	笠原俊一	待寺真司	窪田美樹	近藤昇一	土佐洋子	伊東圭介	結果	関連記事		
議案・陳情等																			
議案第 50 号	令和 4 年度葉山町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	－	認定	P4		
議案第 51 号	令和 4 年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	－	認定	P9		
議案第 52 号	令和 4 年度葉山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討論	× 討論	×	○ 討論	－	認定	P9		
議案第 53 号	令和 4 年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	－	認定	P9		
議案第 54 号	令和 4 年度葉山町下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	－	認定	P9		
陳情 第 5-31 号	陳情 町政に関する陳情取り扱いの改善検討を求める	○ 討論	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	× 討論	×	－	不採択	P12	
陳情 第 5-35 号	住民の安全検証を目的とした、トゥモローランドホテル接続道路における緊急車両の走行テスト及び防災シミュレーション等の実施を求める陳情書	○ 討論	×	×	○	×	○ 討論	○	×	×	×	○	○ 討論	×	× 討論	－	不採択	P3	
陳情 第 5-37 号	町長による特例承認（但し書き）には理由を明示し議会や住民の承認をとることを要求する陳情書	×	×	×	○	×	○ 討論	○ 討論	×	× 討論	×	×	○ 討論	○	×	－	不採択	P3	
陳情 第 5-38 号	トゥモローランドホテル建設に関する申請で虚偽が見つかったので第 3 者委員会の設置を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ 討論	○	×	× 討論	－	不採択	P2	
陳情 第 5-39 号	葉山町内の開発において、葉山町マスタープラン／まちづくり条例が掲げる理念の理解を促し、但書に寄らない施行規則の厳正な適用を求める陳情書	○ 討論	×	×	×	×	○	○ 討論	×	× 討論	×	×	○ 討論	○	×	－	不採択	P3	
陳情 第 5-40 号	葉山町における地下駐車場・地下室設置時に地盤／地質調査を義務付ける条例を求める陳情書	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	× 討論	○ 討論	○	×	× 討論	－	不採択	P2
陳情 第 5-41 号	葉山町の将来に向けた良好なまちづくりを実現・継続するための陳情書	×	×	×	○ 討論	×	○	×	×	× 討論	×	× 討論	○ 討論	○	×	－	不採択	P2	

○は賛成 ×は反対 ◎は提出者 ※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します。

全 会 一 致 の 議 案 等		結 果	関連記事
議案第33号	葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託の協議について	可決	P12
議案第45号	令和5年度葉山町一般会計補正予算（第5号）	可決	P10
議案第46号	令和5年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	－
議案第47号	令和5年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	－
議案第48号	令和5年度葉山町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	－
議案第49号	令和5年度葉山町下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	－
議案第55号	葉山町税条例の一部を改正する条例	可決	P10
議案第56号	教育委員会委員の任命について	同意	－
議案第57号	人権擁護委員の推薦について	同意	－
議案第58号	令和5年度葉山町一般会計補正予算（第6号）	可決	P10
議会議案第5-7号	現行（紙）の健康保険証の存続を求める意見書	可決	P23
議会議案第5-8号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書	可決	P23
陳情第5-27号	令和6年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情	採択	P11
陳情第5-28号	令和6年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情	採択	P11
陳情第5-29号	陳情「生ごみ資源化施設」について工事請負契約の遵守を求める	趣旨了承	P12
陳情第5-30号	現行の（紙の）健康保険証の存続を求める陳情書	採択	P11
陳情第5-32号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情	不採択	P11
陳情第5-33号	従来型（紙）健康保険証の存続を求める意見書提出の陳情	採択	P11
陳情第5-34号	保育所等保育施設の職員配置基準改善を求める意見書を国に提出することを求める陳情書	採択	P11
陳情第5-36号	株式会社トゥモローランドのホテル建設に対する「行政処分、行政指導を求める申出書」の速やかな調査と回答を求める陳情書	趣旨了承	P2
陳情第5-42号	葉山町の未来のためのグランドデザインを策定・宣言することの陳情書	趣旨了承	P3
陳情第5-43号	土地20-1と21-1の間の町道の道路整備計画の道幅拡張に関する陳情書	不採択	P11



町政を問う

一般質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると、議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



皆さんはどのテーマに関心がありますか？

一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。

掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。

会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。

三浦大輝	窪田美樹	石岡実成	待寺真司	山田由美	笹本真史	中村和雄	荒井直彦	近藤昇一	金崎ひさ	星 加代子	土佐洋子
地域ブランディング	ごみ環境問題	これからの学校教育	各種行政計画	まちづくり条例の運用	ペットと防災	開発に対する行政指導	イノシシ対策	開発問題	水環境	ペットにやさしい町づくり	都市計画情報の拡充
P.21	P.20	P.20	P.20	P.18	P.18	P.18	P.16	P.16	P.16	P.14	P.14



閲覧と設置が望まれる都市計画情報等
茅ヶ崎市 HP より

問 ※SPLYZAとの連携協定とは。
教育長 長柄小学校の体育の授業で実証実験を行い、児童同士が話し合い課題解決する。
※スポーツ分析アプリ開発事業者

環境部長 賢明な策だ。理解してほしい。
スポーツを通じて考える力

問 収集の新しいイメージで、週に生ごみが2回、可燃ごみが1回で、増加分の業務を民間委託することは、リスクヘッジの観点はあるが、町民が望むことではないのでは。
環境部長 賢明な策だ。理解してほしい。

問 選挙のときの投票入場券に切り込みを入れるなど、ユニバーサルデザインの進捗は。
総務部長 可能性について調査をしている。

問 ガイドヘルパーの養成も大切だ。横浜市などでは資格を取るための受講料の補助を行っているが、町でも導入できないか。
福祉部長 今後勉強していきたい。

問 視覚障害者の同行援護の拡充は。
町長 社会参加を推進する上で、可能な限り希望に沿うよう、適切な支給決定に努める。

問 社会参加に必要な時間数がないのでは。
福祉部長 現在、月に35時間が標準の時間で、

問 県土木との情報共有は。
都市経済部長 検討・協議している。

問 まちづくり地図情報等のインターネット閲覧情報の拡充は。
町長 検討を進める。住民サービスの向上が図られ、案内業務の8割程度が削減される。

問 窓口への情報端末の設置は。
都市経済部長 窓口端末を設置する予定で、いつでも閲覧できるような体制を取りたい。

問 県土木との情報共有は。
都市経済部長 検討・協議している。

問 まちづくり地図情報等のインターネット閲覧情報の拡充は。
町長 検討を進める。住民サービスの向上が図られ、案内業務の8割程度が削減される。

問 窓口への情報端末の設置は。
都市経済部長 窓口端末を設置する予定で、いつでも閲覧できるような体制を取りたい。

問 県土木との情報共有は。
都市経済部長 検討・協議している。

問 まちづくり地図情報等のインターネット閲覧情報の拡充は。
町長 検討を進める。住民サービスの向上が図られ、案内業務の8割程度が削減される。

問 窓口への情報端末の設置は。
都市経済部長 窓口端末を設置する予定で、いつでも閲覧できるような体制を取りたい。

問 県土木との情報共有は。
都市経済部長 検討・協議している。



朝の海岸は散歩する犬がたくさん

問 災害時に電話・携帯回線が制限されたときの連絡手段、情報収集にWi-Fiは必要だ。
避難所の無料Wi-Fiの設置状況は。
総務部長 現在葉山では指定避難所17カ所、広域避難所1カ所があるがWi-Fiを完備した避難所はない。学校の教育専用Wi-Fiを災害時に開放できないか検討する。

その他の質問 薪ストーブの煙、たばこ吸い殻問題・森戸の一本松伐採跡・特別な配慮が必要な生徒の進路指導・バス代の値上げ対策・重度訪問介護制度

環境部長 現状維持でお願いしたい。
問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

問 現状維持でお願いしたい。
環境部長 現状維持でお願いしたい。

金崎ひさ

森戸川の川底掃除を

都市経済部長

県に^{*}進達する

※官庁への上申などを取り次ぐこと



近藤昇一

建設事業者との話し合いを
住民は求めているが

都市経済部長

早い時期に開催したい



荒井直彦

逗子と葉山の境目に防護柵を
設置計画の進捗状況は

環境部長

逗子は被害もないので
今すぐには考えていない



問 開発事業者が白濁水を森戸川に流し、沈殿している。川底の掃除が必要ではないか。
都市経済部長 県に進達する。

問 合併浄化槽未設置の軒数の把握は。

環境部長 鎌倉保健福祉事務所からの報告を待っているところだ。

住環境の保全

問 大雨で川が氾濫する場所に地下駐車場を作るマンション開発計画があるが、危険では。

町長 各課協議で開発業者には伝える。

問 各課協議を経た町の指導を守らない事業者に対し、協定を結ばないという判断は。

町長 安心、安全の確保に著しい問題があれば、町として許さないという姿勢を示す。

問 すでに始まっている開発工事による近隣

住民の迷惑への対応は。

町長 さまざまな指摘を事業者には伝えたが、住民と事業者とが直接、協議の場を持つことで、前進できると期待している。

問 町長からの町民への説明も不十分だが。

町長 町が間に入っても距離感は縮まらない。

プラスチックごみ

問 生ごみを生分解性の袋ではなく、プラスチック袋で出すとのことだが、プラスチックを指摘している町の姿勢としての整合性は。

環境部長 二重袋を使用している現状を鑑みて衛生面を優先に町長に相談したもの。

問 同様の施策をしている網走市では何tの袋が排出されるのか。

環境部長 年約300tだ。

問 その処理費は4万5100円/tだが。

町長 町としてはその袋は廃プラではなく可燃ごみとして処理し、3万円/tで扱う。



開発工事現場から放流された白濁水



近隣住民の訴え

問 国からの通知で、公営住宅入居に際し、保証人の確保を前提とすることから転換することが求められている。葉山町の対応を伺う。

町営住宅の入居時の保証人

福祉部長 国の趣旨を踏まえ、研究している。

問 住民基本台帳法では、名簿の閲覧は認められているが、コピーは認めていないにもかかわらず、葉山町は自衛隊の求めに応じて18歳及び22歳の名簿のコピーを渡していたが。

町長 名簿の閲覧に戻している。今後は、十分周知を図ったうえで判断する。

都市経済部長 古いものは難しい。

問 住民と町と事業者の話し合いの場を設けることが住民の願い。時期を決めるべきでは。

都市経済部長 早い時期に開催したい。

町長 引き延ばすつもりはない。一刻も早くと思っている。

自衛官募集事務

問 住民基本台帳法では、名簿の閲覧は認められているが、コピーは認めていないにもかかわらず、葉山町は自衛隊の求めに応じて18歳及び22歳の名簿のコピーを渡していたが。

町長 名簿の閲覧に戻している。今後は、十分周知を図ったうえで判断する。

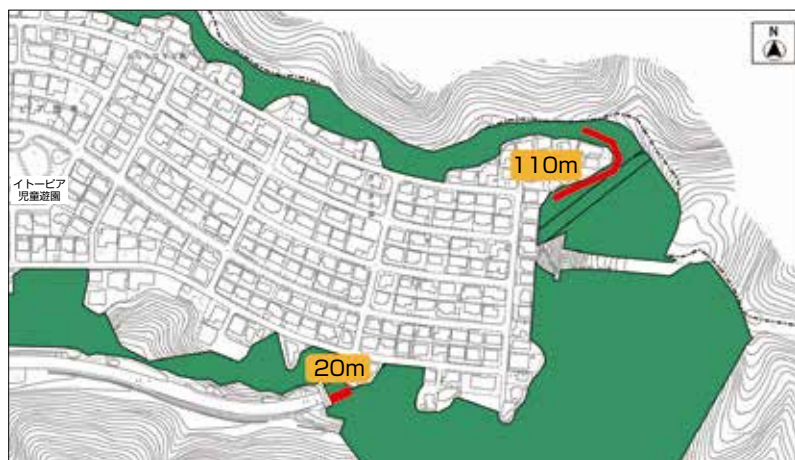
問 まちづくり条例で計画地から主要道路（県道）までの取付道路を6mに拡幅するようになっている。ホテル建設当該道路は一方通行で、進入口からの住民との協議は行っているが、出口までの交渉は行っていないが。

町長 住民からの提案で、出口方面の道路拡幅を事業者にもお願いした。回答はまだない。

問 条例上の6m道路への拡幅が困難と町長が独断で判断しているが、協議を進める前に、住民への説明や審議会へ諮問すべきでは。

町長 審議会の扱いについて研究したい。

問 ホテル建設計画では、道路を隔てたタクシー待機場所が緑化ブロックで緑地とされている。過去の緑化ブロックがアスファルトに変更された経験から、規則で駐車場は緑地に



令和5年度侵入防止柵設置案

問 現在のイノシシ対策は環境課だが、課としての関わり方を生活被害と農業被害とで区別した方が効率的ではないか。

町長 見直しをすべきなのか、一定の結論を出す。

問 農業被害を防ぐために防護柵の設置を推進している。農業被害は減っているのか。

都市経済部長 被害数値からも減っている。防護柵の効果が出ていると判断している。

問 イトーピア団地内の被害を防ぐため神奈川県が作成された逗子と葉山の境目の山道に防護柵を設置しようという計画の進捗状況は。

環境部長 先日の逗子と葉山と県の3者会議では、逗子は被害もないので、今すぐには、考えていないと判断された。

問 このスタートアップ事業は県が間に入った逗子と葉山の計画だが、葉山だけで実施する場合の補助金の対象となるか。

環境部長 対象である。

問 この防護柵の設置計画は、葉山の敷地内で進めること、葉山の単独で行う意味か。

環境部長 葉山町と県との共同事業である。

ヤンバルトサカヤステ対策

問 葉山中学校に設置したアゼシートは効果があると聞いている。町民がアゼシートを購入する場合の補助を検討しては。

町長 改めて検討をする。

中村和雄



マンション建設に対する
行政指導は

町長
運用面で法律の枠を超えた
力を発揮できるのでは

問 地方自治の本旨に基づく地方行政の追求として、地域住民を守ることを目指す条例を禁止する効果を持つ法律は、地方自治に反し違反であるとする考え方についてどう考えるか。

総務部長 法の下に条例は制定されるべきものであり、個別の案件についてはその趣旨や判例に照らして判断していくべきと考ええる。

問 数十年後に廃墟化が懸念されるマンション建設に対する行政指導は。

町長 法律に対して、地方行政が独自に超える考え方をするのは難しい。地域、行政、議会の3者の連携により、運用面で法律の枠を超えた力を発揮できるのではないかと考える。

問 分譲型マンションを認めるのであれば、



2つのマンション建設計画用地

建替えや解体費用を積み立てるよう指導を。
都市経済部長 指導はできると思うが、実効性は疑問だ。維持管理は所有者の責任。そもそも葉山はマンションを誘導しておらず、条例制定でそこまで求めるのは馴染まない。

人口減少、税収減少時代の財政運営

問 人口は競争して勝ち取るものでなく結果としてついてくるものとの考えに変わらないか。

町長 そのように考えている。

問 なり振り構わないくらいの覚悟で人口増に取り組みべきと思うがどうか。

町長 町の予算を使った政策ではなく、町の魅力を磨き続けることで確保していきたい。

問 従来の学校のイメージにとらわれず、地域施設や体育館・プールを取り込んだ学校を、町民のアイデアも募集して整備しないか。

町長 葉山の魅力のベースは土地の地勢や歴史的経緯にある。学校の建替えにあたっては、スポーツ・文化も含め複合施設化を考えたい。

その他の質問 クリーンセンター再整備事業

笹本貢史



ペットと
防災についての考えは

町長
県内で先陣を切って
取り組む

問 飼育放棄等の例もあり、こうした動物の保護活動をする方々に敬意の念を抱く。町民の4人に1人がペットと共生している。防災時のペットとの関係性について考えを伺う。

総務部長 共生のためペットを飼われている方へのアプローチを検討している。

町長 県内で先陣を切って取り組む。ペットとの共生には、両極端な意見もあるが、行政としてハーモニーを紡ぐ。

タクシードライバー

問 全国的にタクシードライバーの需給バランスが崩れている。ライドシェアなど、施策を取って欲しいが。

政策財政部長 国の方針をつかみながら、タクシー事業者の動向を踏まえて、対応を検討していく。



総合防災訓練でのペット避難ブース

海外ホームステイ

問 若い時の海外体験は貴重だ。町として実施してはいいかがか。

町長 海外国内と関わらず、積極的に取り組んでいく。

教育部長 ホームステイは行っていないが、オンラインで意見交換会を行っている。小中学校ではアシスタント・ランゲージ・ティーチャー（英語を母語とする教師）が週1回授業を行っている。

葉山御用邸

問 近年、天皇・皇后両陛下のお出ましの機会がないが。

町長 葉山町内の別荘の一つと考えており、自然に楽しんでいただければ、と考える。

山田由美



一色平松の開発で
境界線変更とは

都市経済部長
前代未聞だ

問 まちづくり条例の運用について伺う。一色平松の開発で事業者が境界線の変更を言い出し、住民が驚いているが。

都市経済部長 再測量で再協議の予定だが、これだけ広い土地で測量図が違うとは、前代未聞のことだ。十分精査する。

問 森戸の開発では、道幅が6mに満たないホテル建設と営業に懸念はないのか。

都市経済部長 道路が一部でも拡幅されれば、公共の福祉に資する。

問 堀内三家橋の開発では、消防用空地は必須ではないのか。

消防長 設計事務所には必要性を話した。

問 機械式駐車場には懸念が強い。条例改正で禁止してはどうか。



一色平松の開発地

町長 個別に話し合う今の運用の方がベターだ。

問 一色白石地区の地区計画策定への支援は。

都市経済部長 協働事業の最たるものだ。町は最終的に何をするか考えている。

学校図書室

問 子どもたちの居場所となるよう、図書室の放課後利用の推進を望む。学校司書の勤務時間延長や、増員は可能か。

教育部長 検討したい。

リサイクル推進

問 リユース市を歓迎する。今後の展開は。

環境部長 今回はテストケースなので、アンケート結果も併せて考える。

遺贈寄附

問 ご自分の遺産を町に寄附したい方に、町として働きかけをしてはどうか。

政策財政部長 ご希望があれば活用したいが、相続問題等、まだ研究の余地がある。

待寺真司

第5次総合計画に
込める想いは

町長

自主自立した地方自治を
担う行政にする



問 各種行政計画について伺う。第9期高齢者福祉・介護保険事業計画に特別養護老人ホームの新設を明記するのか。

福祉部長 第8期では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現を目指し、地域包括ケアシステムを構築して、在宅でも施設並みの医療、介護、予防や生活支援サービスを一体的に提供する体制づくりに取り組んでいる。施設整備は在宅サービスと併せて、検討していく必要がある。

問 1号介護保険料の算定では、現有の積立基金の状況や、高所得者数の多さや健康維持の取り組みが展開されている点など考慮して、基準額第5段階の月額4900円を維持するか、第7期4800円に戻してはどうか。

石岡実成

葉山独自のフリースクール
助成制度の新設は

教育長

十分に調査・研究しながら
何ができるかを模索していく



問 鎌倉市が導入したような、フリースクール助成制度を当町でも新設できないか。

インクルーシブ教育

教育長 先進自治体の調査と研究をしながら、何ができるかを模索していきたい。

問 インクルーシブ教育に向けた、新たな研修や環境整備などの計画はあるか。

エシカル教育・エシカル給食

教育長 町単独というより国や県が打ち出す方針を見定めた上で、システム変更を含めた環境整備を実現していきたい。

問 脱プラ教材やリユースすべき道具など、令和6年度に向けた新たな施策はあるか。

エシカル教育・エシカル給食

教育長 「アサガオプロジェクト」と銘打って、竹や木材の間伐、加工、プラントの製作など、学年の枠を超えた授業を組み合わせて完結するプログラムを取り入れてみては。

問 エシカル給食の取り組みや給食食材などの安全性をもっと発信・アピールすべきだ。

教育部長 発信の仕方を含め検討していく。

中学校の校則の在り方

問 時代に馴染まない、或いは、生徒が駄目な理由を理解できないような校則は、話し合いながら見直していくべきでは。

教育部長 生徒の声を拾って、十分に意見を反映させていくことが大切だと思っており、今後もしっかりと対応していきたい。

その他の質問 中学校2学期制、ハラスメント防止条例の制定



葉山町の不登校児童・生徒の推移

窪田美樹

燃やすごみ収集週1回は
町民サービスの低下では

町長

計3回想定で繋がらない



問 生ごみたい肥の搬出先が滞った場合は、環境部長 菌の調整等で余剰は想定していないが、町民や逗子市にも再度声をかける。

問 燃やすごみ収集は週1回が想定されているが、町民サービスの低下に繋がるのでは。

町長 生ごみ燃やすごみ計3回想定で、更に収集力が上がり、サービス低下に繋がらない。

問 紙おむつ利用家庭は臭いだけでなく、保管場所、大人用は重さも相当になり、対応は。

環境部長 取り組みを学び進めたい。

問 大型スーパーは白トレイ等回収しているが、簡易包装等プラごみ削減協力を求めている。

町長 先進自治体から、町民の負担とならずプラごみ削減への取り組みを学び進めたい。

問 他自治体では、玄関先まで粗大ごみを出せない高齢者に支援策がある。参考し対策を。福祉部長 手法を勉強し、進めている。

防災・減災への取り組み

問 災害時弱者の避難計画が進んでいない。計画ありきではないが、現状把握のためにもモデルケースを設け1件でも避難計画策定しているが、個々の状況が違う。優先度や地域協力等を考慮し、順次策定していきたい。

町長 個別避難計画策定の必要性を認識しているが、個々の状況が違う。優先度や地域協力等を考慮し、順次策定していきたい。

問 発災後のボランティア受入情報発信や災害廃棄物の対応が早期復興へ重要だ。想定は。総務部長 早期にボランティア検討の予定だ。

妊産婦健診・産前・産後ケアの充実

問 子育て世帯の移住は増えているが、町内出生数は年々減少している。妊産婦健診補助額全国最下位の神奈川県から、人口の取り合いにならない県内初健診無料化に取り組んでは。

町長 莫大な経常的経費も考え、国や県に整備充実を求めることに力を入れるのも一つだ。



レジ袋禁止を条例化した亀岡市

三浦大輝

里山エリアを「奥葉山」として
地域ブランディングしては



町長
新しい打ち出し方をして
いくことは大事なことです

問 葉山奥座敷の里山エリアを「奥葉山」という、新名称で地域ブランディングしては。
町長 ブランディングや新しい打ち出し方は大事なことです。貴重なご提案として受け止める。
問 上山口の棚田を文化庁の指定する「文化的景観」の文化財として保護してはどうか。
教育長 ご提案を受け止め、学芸員とも相談し、メリットや必要性について研究する。

薪ストーブ等の煙害

問 町内で現在約200カ所の薪ストーブ設置家屋がある。中には煙で健康被害を受けている住民もあり、悲痛な声があがっているが。
環境部長 ここ数年で2件の相談があった。引き続き、広報やHPで課題含め掲載する。

ごみ収集・処理

問 堆肥化や収集運搬回数の増加に伴い町単独ではCO₂排出量が増える計画だが。
町長 単独ではそうなるが国・地球全体を挙げ、カーボンニュートラルを目指す。
問 新制度設計では想定で年間3千万円以上の大幅コストアップが見込まれるが。
環境部長 生ごみ週2回収集を維持すれば、当然プラスになると認識している。
問 コストや住民サービスの犠牲を払ってでも、この政策を押し進める覚悟は。
町長 「環境に非常に厳しく、地球規模で物を考えられる自治体だ」という観点から、生ごみ処理についても方針を決めた。
町長 今、議論を進めている最中にある。
問 道路拡幅に関する公約があるが。
町長 道幅6mの推進をどれだけ厳しく、強く打って出れるか検討課題とする。

町長任期中の自己評価



奥葉山地域ブランド創出についての提案資料

議員懇談会

町長招集により開催

「令和6年新春の集い」の開催について

コロナ禍で3年間、町民一堂が会する新春の集い開催はできない状況でしたが、令和6年は実施の予定です。

「町制施行100周年記念式典」

「令和7年新春の集い」について

日程や会場等の案が示されましたが、再検討が必要となり、改めて協議をすることとなりました。

「将来の公共施設・学校・公園を考える意見交換会」の報告について

公共施設等の再編を町民と行政が協働で考え将来へ繋げていくため、公共施設等の方針決定の参考を目的に、町内・自治会役員と意見交換を行いました。「イメージの共有と町民ニーズの把握をすることができた」とのことです。今後は、各施設の方角性を深掘りするため「個別施設に関する意見交換会」の予定とのことです。

町内の幼稚園が予定していた認定こども園開設に係る国有地取得について

一色の衆議院葉山保養所跡地取得の協議が不調に終わり、幼稚園から国有地の取得断念の報告がありました。

議員研修会

議会主催

「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマに「自治体にパートナーシップ制度を求める会」に講演を依頼しました。講師のTakacoさんは、新橋で多種多様なセクシャリティの人が集まるカラオケミックスバーを3店舗経営する傍ら、港区の選挙管理委員会委員も務めていました。日本でも同性婚が認められるよう幅広く活動されている方です。

講演の中でTakacoさんは「性別関係なく平等な評価が受けられるようになる『ジェンダーフリー』の実現は、世の中の偏見や差別による可視化が難しくなっていることが問題である。現実には、LGBTQ（性的少数者）は、人口の5〜8%いると思う。生きづらさを感じている人たちが支援してほしい。海外に住んだ経験もあるが、日本は住みにくさNo.1である。日本は、男女間の格差を示すジェンダーギャップ指数が今年の調査で146カ国中、過去最低の125位だった。今後も選択的夫婦別姓制度や同性婚合法化といった多様な家族の在り方を訴え、ジェンダーギャップの解消につなげていきたい」と語られました。



Takaco 講師

視察報告

クリーンセンター再整備に関する特別委員会

8月22〜23日

1 愛知県名古屋市中部リサイクル株式会社
葉山町の「燃えるごみ」は逗子市で焼却していますが、その焼却灰の一部を処理している会社です。灰を高温で溶融させ、金・銀・銅等の有価金属を回収しています。埋め立てより経費はかかりますが、リサイクルの観点からは意義があります。
2 愛知県豊田市「緑のリサイクルセンター」
刈草や剪定枝と事業系生ごみを混ぜ、約45日かけて堆肥化しています。

委員長 金崎ひさ



中部リサイクルの溶融物の徐冷設備



緑のリサイクルセンター

現行(紙)の健康保険証の
存続を求める意見書

令和6年秋から現行(紙)の健康保険証を原則廃止し、「マイナ保険証」を基本にしているが、相次ぐ問題により、制度やシステムに対する国民不信は広がりを見せている。
マイナンバーカードは任意取得であり、それをマイナ保険証として利用することもしないことも個人の自由であるのに、現行(紙)の健康保険証を廃止してしまうことは妥当ではない。
こうしたことから、現行(紙)の健康保険証は廃止することなく、その存続を求める。

保育所等保育施設の
職員配置基準改善を求める意見書

職員配置基準は長い間見直しされておらず、多くの自治体で独自の配置基準を設け配置して、その財源は自治体任せとなっている。
また、保育士の平均月給が責任と見合わない処遇から離職や新規採用者が集まらず、人員不足が一層深刻化している。
よって、対策を要望する。

- 1 保育施設の配置基準を引き上げ保育士の増員をはかること。
- 2 保育施設・学童保育施設等職員の処遇を改善し、標準的な労働者の年収を確保するための予算を措置すること。また、正規職員としての就労を希望する非正規職員の正規化および雇用安定を促すための支援策を講じること。
- 3 公定価格を引き上げ、保育職場で働くすべての職員の処遇改善をはかること。

我が家の隣にマンション建設が?!

町には「まちづくり条例」があり、事業者に適正な指導をしながら町民の声を届ける仕組みなっています。ただ、町民からは、開発に関する多くの陳情が寄せられているのが現状です。

議会として「葉山町まちづくり条例」の在り方を協議しています。

陽当たりは？
景観が悪くなる？
景色が変わる？

緑化率は？
建物の高さは？
駐車場は？

災害対策は？
道路幅は大丈夫？
避難経路は？

工事は安全？
騒音や揺れは？
事業者が好き勝手
させないで!!

地盤沈下は？
地下水の影響は？
工事車両は
どのくらい？



「葉山町まちづくり条例」QR

「協働によるまちづくりの推進」

町民が、自ら住みよいまちづくりを進めるため、「地域まちづくり推進協議会」を設立できます。この協議会では、エリアを区切って地区協定や建築協定を見据えたまちづくりを行うことができ、町は、この取り組みを支援する制度です。



次回定例会は...

11/28-12/14 の予定です。

議案審議	一般質問	各常任委員会	特別委員会
11/28 (火)	12/11 (月)	11/29 (水)	12/4 (月)
12/13 (水)	12/12 (火)	11/30 (木)	12/5 (火)
	12/13 (水)	12/1 (金)	

議会運営委員会

12/6 (水)

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。

議会のライブ・録画中継は、スマートフォン、タブレットでも視聴できます。



視聴は
こちら



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

議長 伊東 圭介
議会広報常任委員会
荒井 直彦 窪田 美樹
三浦 大輝 星 加代子
石岡 実成 山田 由美
笠原 俊一

10月27日 三浦大輝 記

議会から発信される媒体では唯一、全世帯へ配布されるのがこの議会だよりです。アナログの価値を最大化するために、まだまだできることはあるはず。議会広報委員の一員として、今後もその可能性を探り続けていきます。

この葉山の「リアル」が議会だよりには詰まっています。何気なく捲った紙面には皆さんの知らなかったリアルがあったでしょう。読み進める中で、さまざまな感情があったことと思います。議会だよりは、皆さんに「気づき」を持っていたり、何かとひとつの役割だと思っています。

定例会、そして議会だよりの編集が終了した今考えるのは「正解」のない問いに、どれだけの信念を持って「答え」を導けたのだろうかということ。振り返れば「何よりも個人に向き合い続けたい」そんな想いを改めて強くしたこの半年間でした。実際に現場に足を運ぶことで、初めて見えた景色がありました。

編集後記